令和６年度第１回摂津市産業振興アクションプラン懇話会　議事録

日時　　：　令和６年９月30日(月)　13時00分～14時30分

開催方法　：　オンライン併用　（実会場）摂津市役所本館２階202会議室

出席者　　：　岩橋　亮　　委員　　山田　匡規　委員　　谷川　幸広　委員

小川　佳美　委員　　小石　英司　委員　　島内　嘉紀　委員

橋口　勝利　委員　　渡邊　勝彦　委員

事務局　　：　鈴木、山下、緒方、上田、福田（摂津市産業振興課）

配布資料　：　① 次第　②タイムスケジュールと本日の趣旨

③【資料１】第３期産業振興アクションプランの策定について

④【資料２】令和６年度の取組みについて

⑤【別紙】摂津市事業所ニーズ調査結果報告書

⑥ 摂津市産業振興アクションプラン懇話会委員名簿

議題　　：　① 第３期摂津市産業振興アクションプランの策定について（資料１・別紙）

② 令和６年度の取組みについて（資料２）

③ 次回の懇話会について

座長

それでは時間となりましたので、「令和６年度第１回産業振興アクションプラン懇話会」を開催いたします。本日もよろしくお願いいたします。事務局より事前に資料が送付されていると思いますが、それに基づいて議事進行していきたいと思います。初めに事務局より、次第及び本日の懇話会の目的等について説明がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局

（事務局より、①次第 ②タイムスケジュールと本日の趣旨 に沿って説明）

座長

それでは次に、第３期摂津市産業振興アクションプランの策定について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（事務局より、③【資料１】第３期産業振興アクションプランの策定について、⑤【別紙】摂津市事業所ニーズ調査結果報告書 に沿って説明）

座長

説明が終わりました。まずは、今の説明の前半部分（章立て・ニーズ調査結果・SWOT 分析）の部分について、委員の立場からご意見やご質問ございませんか。

委員

第３期の章立ての巻末資料部分について、新たに「摂津ビジネスサポートセンター」の研究資料を加えられていると思います。加えて「摂津ブランド」も摂津市の特徴的な取組みですので、巻末資料に追加したほうがよいのではないでしょうか。

事務局

ご意見がありましたとおり、「摂津ブランド」は特徴的な取組みです。巻末資料に加えるか、もしくは３章の１「これまでの取組み」に記載するか、どちらにすべきか検討したいと思います。

委員

ニーズ調査結果を読んで感じた課題等についてお話させていただきます。まずはニーズ調査結果 P4～5 の「創業」「業種」についてです。摂津市は「ものづくりのまち」として計画にも反映していく方向性は間違ってはいないと思うのですが、調査結果にあるように、近年はサービス業・飲食業・建設業の創業が増えてきていること等を鑑みて、摂津市の産業構造が変わってきている、ということも意識しておくべきかなと感じます。

次にニーズ調査結果 P6～7 の「サービスの利用」についてです。利用状況としては、「中小企業事業資金融資」が 10.4%で一番多いのですが、「無回答」と答えた事業者が 65.6%もいるという状況です。要するに、行政サービスを利用されていないか、あるいはメリットを感じていない事業所が多いということが浮き彫りになっていると思います。また、「摂津市ビジネスサポートセンター」と「摂津ブランド」は特徴的な取組みではありますが、サービスの利用状況としてはそれぞれ 2.0%、1.4%となっていますのでまだまだ継続的に取り組んでいく必要があると思います。

次にニーズ調査結果P18の「自社の後継者」についてです。調査結果では「後継者がいないので、いずれは廃業するつもりである」が23.3%を超えているのは大きな課題だと思います。親族内承継であれば事業所内でも検討しやすいかと思いますが、外部の人に承継する場合、市としてアプローチ方法を検討していく必要があると思います。例えばマッチング等で支援機関としてできることはあると思います。

委員

農業の内容が薄いような気がするのですが、どのように解釈したらいいのでしょうか。

事務局

第2期においては、「新たな産業を生み出し活力のあるまち」の視点で、起業や観光といった分野と一括りにしていました。それによって、成果指標と活動目標がリンクしていませんでした。今回、農業だけ取り出すことで活動目標をより具体的に設定できると考えておりますので、引き続き農業の取組みも行っていきます。

委員

農業は鳥飼まちづくりグランドデザインも含めて活性化できる方向に持っていければと思います。

座長

それでは一定のご意見も出ましたので、次の議論に移ります。資料1の後半部分（3期の方向性・産業振興の方向性・成果指標）について、委員の立場からご意見やご質問ございませんか。

委員

中小企業の立場からすると、この場で素案に対する指摘を出し合うというよりは、もっと具体的に何をすべきか、という視点で意見を出し合った方がいいのではと感じます。

事務局

事業承継の話がありましたが、大阪商工会議所が事務局になっている「大阪府事業承継・引継ぎ支援センター」という相談機関があり、そのネットワークに本市も含まれています。本市としては、この機関に繋ぐことでうまく支援の輪に乗せていけるのではないかと感じています。まずはこのような相談機関があるということを知ってもらうことが必要だと感じています。

また、ニーズ調査を市内の事業所に送付した際、市のサービスを説明するリーフレットを同封しました。送付直後は反響があり問い合わせもありましたが、その後問い合わせは減少しています。委員からもありましたように、行政サービスを利用していない原因の１つに「行政サービスがあることを知らない」ということがあります。
国・府・市等、様々なサービスがある中で、事業者に対して適切な提案ができていないことは課題に感じています。今後は市公式 LINE のセグメント配信等を活用しながら、適切な情報発信を検討していくつもりです。

委員

LINE 配信だけでは高齢の経営者には届かない。何か一工夫が必要と思います。

委員

自分から情報を取りに行く努力をすることも必要です。中小企業なら事業者間で助け合うことも検討するべきだと思います。

委員

省力化について意見なのですが、「人手不足だから省力化」というプロセスは唐突すぎる気がします。まずは支援機関等のネットワークで支える方法を検討するべきだと思います。市内の中小企業は多品種少量生産の企業が多く、省力化に向かない場合もありますので、摂津市の実態に合った提案にするべきだと思います。

委員

３期の方向性でも記載がありますが、まずは「連携の強化」を図った上で、経営力向上に繋がるのではないかと思います。省力化は次のステップかもしれません。

委員

事業承継の話に戻りますが、事業承継で大事なのは〇年〇月に交代するというように具体的な日付を決めて、やるべきことを逆算することだと思います。その手段として、省力化は大事であり、わが社でもシステム投資による DX 化を進めています。

委員

商店街でもインスタグラムを開設したりして、繋がりを意識して活動しています。そのあたりの繋がりをフォローしてもらえるような支援があればいいと感じます。

委員

現地訪問して実際の現場を見ることも大事だと思います。

座長

一定の議論が進みましたので、今回の懇話会の内容を踏まえ、次回の懇話会には計画の素案を作成いただきます。最終的な内容は事務局に一任ということでよろしいでしょうか。

委員

（特に異論なし）

座長

それでは次の次第に移りまして、事務局より令和６年度の取組みについての説明をお願いいたします。

事務局

（事務局より、④【資料２】令和６年度の取組みについて に沿って説明）

座長

事務局からの説明は以上です。最後に次回の懇話会について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

（事務局より次回の懇話会日程の提示）

座長

これにて本日の議題はすべて終了しました。次回の懇話会日程につきましては、改めて事務局より開催通知があります。これをもって、本日の「令和６年度第１回摂津市産業振興アクションプラン懇話会」を終了いたします。